

官報

號外 昭和二十一年七月二十四日

○第九十回 帝國議會 貴族院 議事速記録第十三號

昭和二十一年七月二十三日(火曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第十三號

昭和二十一年七月二十三日 午前十時開議

第一 請願委員報告

第二 隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第三 關東市借地借家臨時處理法案(政府提出)

第四 北越鐵道敷設ニ關スル請願

第五 天鹽沿岸鐵道敷設ニ關スル請願

第六 豫定線雄武、枝幸間鐵道速成ノ請願

成ノ請願

○議長(公卿德川家正君) 諸般ノ報告

ハ御異議ガナケレバ、朗讀ヲ省略致シマ

ス

【參照】

去ル十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ

政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決

ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和二十年法律第三十四號(衆議院議員選舉法の一部を改正する法律)

中まだ施行してゐない部分の廢止に關する法律案

同日委員長ヨリ諸願委員山田土佐太郎君ヲ第四分科適當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

同日內閣總理大臣ヨリ左ノ通第九十回帝國議會政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

厚生省所管事務政府委員 富樫 總一君

同 厚生事務官 加藤 清一君

去ル十八日內閣總理大臣ヨリ左ノ通第九十回帝國議會政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

司法事務官 岡田 善一君

去ル十九日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件) 可決報告書

請願委員會特別報告第一號

去ル二十日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

關東市借地借家臨時處理法案可決報告書

昨二十二日內閣總理大臣ヨリ左ノ通第九十回帝國議會政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

內務省所管事務政府委員 田中 樞一君

內務事務官 田中 樞一君

○議長(公卿德川家正君) 是ヨリ日本ノ會議ヲ開キマス、去ル十七日豫算委員會板倉卓君ヨリ都府ニ依リ委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致シテ御異議ゴザイマセカ

【異議ナシ】ト呼フ者アリ

○議長(公卿德川家正君) 御異議ナシト認メマス、就キマシテハ第五部ニ於テ其ノ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公卿德川家正君) 日程第一、請願委員長報告、委員長高木子爵

【子爵高木正得君登壇】

○子爵高木正得君 請願委員會ノ第一回御報告ヲ申上ゲマス、先づ正副委員長ノ互選ハ去ル六月二十二日ニ之ヲ行ヒマシタ、次ニ委員會ハ二回開會致シマシタ、其ノ第一回ハ六月二十四日ニ開會致シマシタ、分科ノ決定並ニ分科適當委員ノ選定、審査方針、委員會並ニ分科會ノ開會日時等ヲ決定致シマシタ、第二回委員會ハ七月十九日ニ開會致シマシタ、通過設置セラレマシタ、通信省關係ノ請願、第三分科ニ於テ審査スルコトヲ議決致シマシタ、詳細ハ執レモ速記録ニ依リテ御覽ヲ願ヒマス、分科會ノ開會數ハ一回デゴザイマシテ、即チ第三分科會ヲ七月十五日ニ開會致シマシタ、請願文書表報告ハ七月三日、第二回報告ハ七月十日、第三

回報告ハ七月十七日ニソレト、提出致シマシタ、請願委員會特別報告ハ一回デゴザイマシテ、即チ第一號ヲ七月十九日ニ提出致シマシタ、請願ノ受理件數ハ十八件デゴザイマシテ、此ノ請願連署ノ人數ハ八百六十四名デゴザイマス、右ノ請願十八件中、請願文書表ニ掲載致シマシタモノガ十四件、未掲載ノモノガ四件デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ慎重審査ノ結果議院ノ會議ニ付スベシトスルモノ三件ト決定致シマシタ、以上ハ昭和二十一年七月二十二日迄ノ御報告デゴザイマス

○議長(公卿德川家正君) 日程第二、隱匿物資等緊急措置令、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、委員長秋元子爵

隱匿物資等緊急措置令

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十一年七月十九日

委員長 子爵秋元 春朝

貴族院議長公卿德川家正殿

【子爵秋元春朝君登壇】

○子爵秋元春朝君 隱匿物資等緊急措置令ノ委員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ前後五回開會マシテ、商工大臣カラ本議場ニ於テ説明ニナリマシタヨリ以上、詳細ニ御説明ヲ拜聴致シマシタ、詳細ニ案ノ内容及ビ其ノ施行ニ付キマシテ檢討ヲ致シタノデアリマス、商工大臣カラ本令ノ緊急勅令トシテ公布セザルヲ得ナカッタ事情ノ説明並ニ本案ノ内容及ビ其ノ施行ノ狀況等ニ付テ詳細ニ説明ヲ聴取致シタノデアリマス、後質疑ニ入りマシタ

ガ、關係官廳、農林省、商工省、内務省カラ本案施行ニ付キマシテノ色々ノ參考資料ヲ配付ヲ受ケマシテ、又之ニ依リテ説明ヲ受ケツ、質疑ヲ續ケテ參ツタノデアリマス、隱匿物資ノ買上ノ限度トカ、又ハ見込ノ數量、今日迄ノ実績、ソレカラ又本令ノ違反ノ事件、又買上物資ノ配給方針、保管方法ノ問題、又關市場ノ取締ノ問題等本令ノ全般ニ亘リマシテ熱心ナ質疑應答ガ交サレマシタ、之ニ對シマシテ、商工大臣其ノ他各省政府委員カラ、詳細ナ答辯ガアツタノデアリマス、質疑ノ中、主ナモノヲ拾ツテ申上ゲマス、民間ノ隱匿物資ノ強制買上ト云フ非常手段ニ訴ヘザルヲ得ナイ今日、交易營團其ノ他、政府ノ管轄下ニ在ル公共的ナ團體ノ多量ノ保有物資ノ活用ガ先決問題デアリ、又之ヲ積極的ニ國內民需用ニ轉用ヲ圖ルベキデアルガ、之ニ對シテ今迄執ツタ處置其ノ他ハ、ドウ云フコトニナツテ居ルカト云フ質問ガアリマシテ、之ニ對シ商工大臣及ビ政府委員ヨリ物資需給關係ノ極度ニ切迫シテ居リマス今日、是等ノ團體ノ保有物資ヲ活用致シマシテ産業再建ニ資シ、又見返リ物資トシテ輸出シ、或ハ輸出品製造ノ原料料トシテ國內ニ放出スルコトガ最も必要デアリ、其ノ放出ニ付テハ、原則ト致シマシテ統制團體ノ手ヲ經ルコトトシ、公正ニ且適當ナ期スル旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、又特殊物件其ノ他ノ重要物資ガ盜竊又ハ火災等ニ依リマシテ滅失シテ行クコトガ度々アルガ、是等ノ保管ニ關スル對策ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、又隱匿物資ガ大量ニ關市場ニ流れ出テ來テ、經濟ヲ混亂セシメテ居ルヤウナ狀

官報號外 昭和二十一年七月二十四日 貴族院議事速記録第十三號 議長ノ報告 會議 委員長辭任ノ件 請願委員長報告 隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件) 會議 一〇五

能アルガ、其ノ對策ハドウカ、又取
締ハ如何、之ニ對シマシテ、政府當局
カラ、罹災借家ニ付テハ申告ノアツ
タモノハ、各地方廳ノ係官ガ現場ニ赴
キマシテ、實情ヲ調査シ、且、讓渡命
令ノ發セラレタモノニ付キマシテハ、
特ニ其ノ管轄ヲ嚴重ナラシメルト共
ニ、實上國庫ノ引取りヲ促進シテヤツ
テ居リマスシ、又集團強盜ナドニ付キ
マシテハ、現行犯檢擧主義ニ依リマシ
テ犯罪ノ輕減ヲ期スル爲相當ノ效果ヲ
收メツ、アルト云フコトデアリマス、
之ニ依ツテ閣下市場ニ流入スル物資ハ
餘リ大シク量デハナイカト思ハレル
ト云フヤウナ答辯ガゴザイマシタ、尙
今後各種ノ惡條件ヲ克服致シマシテ一
層取締ノ強化ニ努ル旨ノ答辯ガアツタ
ノデゴザイマス、關係シテ居リマス官
廳ト申セバ、商工省、主ニ纖維品ノ物
ガ一番ニ多數收容セラレテ居リマス
シ、農林省ハ、是ハ主要食糧其ノ他食
糧品ガ多數收容サレテ居リマス、サ
ウシテ是等ノ違反者ト云フモノハドウ
云フ風ニナツテ居ルカト申シマス、
集團檢擧ヲ致シマシタノガ二月ニ付餘
件、ソレカラ三月ニ少シ減リマシタ三
十餘件、四月ニハ又上リマシタ八十餘
件ト云フ相當數ニナツテ居リマス、大
部分ハ檢舉ヲ了シマシテ成績ヲ擧ゲテ
居ル、ソレカラ申告ヤ其ノ他ニ付テハ
第十條ニ違反シテ居ル問題ニ付テハ約
三萬二千餘ガゴザイマシタガ、中三
萬八千餘ガモノハ、説諭其ノ他色ヲ納得
ヲ致シマシテ申告行キマシタガ、殘ル
二千餘ハト云フモノハ已マ得ズ送局
ヲ致シマシタト云フ答辯ガアリマス
シ、廣イ範圍ニ互リマシテ色々細カイ
説明ガアリマシタシ、又數字ニ付テモ
色々御説明ガアリマシタガ、此ノ點ハ

省略致シマス、斯クテ質疑ヲ終リマシ
テ討論ニ移リマシタガ、討論ハ省略ト
云フ一委員ヨリ意見ガアリマシタノデ
省略致シマシテ、直チニ採決ニ入りマ
シテ全會一致採決ヲ與フルモノト可決
決議致シタノデアリマス、此ノ段階單
デアリマスガ、御報告申上ゲマス
○議長(公費德川家正君) 別ニ御發言
モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、
委員長ノ報告通り本件ニ承諾ヲ與フル
コトニ御異議ゴザイマセヌカ
○議長(公費德川家正君) 御異議ナ
モノト認メマス

○議長(公費德川家正君) 日程第三、
罹災都市借地借家臨時處理法案、政府
提出、第一讀會ノ議、委員長報告、委
員長高木子爵

罹災都市借地借家臨時處理法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依
テ及報告候也

昭和二十一年七月二十日

委員長 子爵高木 正得

貴族院議長公費德川家正君

子爵高木正得君登壇

○子爵高木正得君 只今議題トナリマ
シタ罹災都市借地借家臨時處理法案ノ
特別委員會ノ審議ノ經過並ニ結果ヲ御
報告申上ゲマス、本案ハ七月十日日本會
議ニ上程セラレ、特別委員ニ付託セラ
レマシタ、特別委員會ハ同日直チニ開
會、正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、翌十一
日ヨリ四回重ネルコトハ、殆ど連日ニ
互リ慎重審議ノ結果、二十日日本會
議可決スベキモノト全會一致ヲ以テ議
決致シマシタ、今本案ノ提出ノ理由
ヲ申上ゲマスレバ、此ノ度ノ戰爭ニ

於キマス空襲其ノ他ノ災害ヲ蒙リマ
シタ諸都市ニ付テハ、其ノ借地關係
ヲ調整スル爲ニ特別措置トシテ臨時
罹災土地物件令ト云フモノガ制定セ
ラレマシタガ、同令ハ戰時中ノ緊急
法令デアツテ、終戰後ノ今日ノ實際
ノ事態ニ副ハヌ點ガ多クアルバカリ
デナク、又此ノ勅令ノ根據法デアル戰
時緊急措置法ハ第八十九回帝國議會ニ
於テ廢止サレ、從ツテ此ノ臨時罹災土
地物件令ハ早晚失効ノ運命ニ置カレテ
居ルノデアリマス、仍ツテ此ノ際同令
ヲ廢止致シマス同時ニ、之ニ伴ツテ
必要ナ善後措置ヲ講ジヨウトスルノガ
第一ノ理由デアリマス、次ニ現在ノ住
宅拂底、罹災都市ノ復興遲延其ノ他ノ
狀況ニ鑑ミマス、罹災土地市及公
開跡地ノ借地借家關係ニ付テ更ニ進
デ其ノ調整ヲ圖ル必要ガアリ、ソレト
共ニ罹災者ノ保護、罹災都市ノ復興促
進等ノ爲特別ノ立法の措置ヲ必要ト致
シマス、此ノ必要ニ應ヘムトスルノガ
第二ノ理由デアリマス、次ニ質疑應
答ノ一部ヲ申上ゲマス、一委員
ヨリ農地再調整ニ對シテ、宅地
ハ如何ナル調整ヲ行フヤノ質疑ニ
對シマシタハ、今回ハ唯跡地ノ調
整ニ止リ、根本的ノモノニハ觸レテ居
テイト御答ニナリマシタ、一委員ヨリ
ハ、本案實施ノ結果、都市ノ復興計畫
ノ實施ニ支障ヲ來ス虞ハナイカトノ質
疑ニ對シマシタハ、本案ノ制定ニ付テ
ハ戰災復興院トモ緊密ナル連絡ヲ取
リ、本案第二條第一項但書、第九條但
書ノ規定ハ專ラ復興計畫ノ實施ヲ圓滑
ナラシメル趣旨ニ基キテ設ケラレタモ
ノデアリ、本案實施ノ結果ガ都市復興
計畫實施ニ支障ヲ爲スヤウナコトハナ
イトノ御答辯ゴザイマシタ、一委員

ヨリハ、地代、家賃ノ管轄所管ニ付テ
ハ一元化スベキモノデ、司法省ガ取扱
フノガ最も適當ト思フガドウデアルカ
ト云フ質疑ニ對シマシタハ、司法省ハ
普通ノ行政事務ニハ關與セヌコトヲ堅
持シテ居リ、若シ紛爭ニナリシ場合ニ
ミ取扱フトノ御答辯デアリマシタ、
一委員ヨリハ、本案ニテハ借地權ハ第
五條第十一條等ニ依リ、其ノ存續期間
ハ十年ト決ツテ居ル、然ルニ借地法第
四條ノ如キ更新ノ條文ナク、借地法第
四條乃至第七條ノ規定ニ依リ更新ス
ル、從ツテ更新ノ時ニハ二十年三十年
トナル、本案ノ存續期間ハ十年デア
ルカラ、更新モ十年トスル方ガ正シク
ハナイカト云フヤウナ御質疑ガゴザイ
マシタガ、之ニ對シマシタハ、第五條
ニ依リマシタ借地法第二條ノ規定ダケ
ヲ排斥シ、他ノ點ハ總テ借地法ガ懸ツ
テ來ルト云フ解釋ヲ當面ト思フノ答辯
デアリマシタ、一委員ヨリ、貸間料ニ對
シテハ法律ノ制限規定ガアルカト云フ
ウナ御質問ニ對シマシタハ何等ノ規定
ガナイケレドモ、若シ暴利ナル場合ニ
ハ暴利取締令等デ其ノ規定ガ適用サレ
ルコトニナルトノ御答辯ガゴザイマシ
タ、其ノ他特別都市計畫法ト本案トノ
調整如何、本案第八條ト借地法第十三
條トノ關係如何、本案ノ施行地域ト借
地法ノ施行地域トノ關係如何、戰時罹
災土地物件令ニ依ツテ停止シテ居ル借
地權ノ復活時期如何等ノ質疑ガアリマ
シタ、政府委員ヨリソレモ、懇切ナ御
答辯ガアリマシタガ省略致シマス、次
ニ逐條審議ニ移リマシタガ、最モ質疑
應答ヲ重ネマシタ條項ハ第二條ト第三
條ト、第二十九條第三十二條デアリマシ
テ、罹災土地又ハ公開跡地ノ複雜ナ借
地借家ニ關スル法律關係ヲ取扱ツテ居

ル關係上、法文ノ精神及ビ字句ノ解釋
ニ付テ連日熱心ニ審議致シマシタ、細
ミ入り徹ニ互リマシテ論議致サレマシ
タガ、詳細ハ速記録ヲ御覽ヲ願フコト
ニ致シタイト思ヒマシタ、此ノ際ハ省
略致シマス、尙法案ヲ審議スルニ當リ
マシテ關聯の質疑ノ爲 大藏政府委員
及ビ內閣府委員ノ出席ヲ求メ、次ノ
ヤウナ質疑應答ヲ致シマシタ、一委員
ヨリ、家賃ノ賃貸ガ金融統制令ノ施行
ニ依リ其ノ手續ガ非常ニ煩瑣ナリ是デ
ハ住宅難打開ノ却テ邪魔ニナル、殊ニ
現在ノヤウニ預金ノ封鎖即チ金融緊急
措置令ガ布カレタ以上經濟生活ハドウ
ウノ實情ニ對シマシタハ、最近ハ實
上積極的ニ行ハレテ居ナイ狀態デア
ルカラ出來ルだけ速カニ他ノ經濟措置
考ヘ合セマシタ、早イ機會ニナクナ
ヤウニ一致シタイトノ答辯デアリマシ
タ、又一委員ヨリハ、復興院ノ計畫ト
本案トノ關係ニ付、喰違ヒガアルコト
ヲ擧ゲラレタ質問ガゴザイマシタガ、
之ニ對シマシタハ、復興院ト司法省ト
ハ緊密ナル連絡ヲ保ツテ居ルカラ、決
シテ御心配ノヤウナコトハナイトノ答
辯ガアリマシタ、其ノ他二三ノ質疑ガ
アリマシタガ、是亦省略致シマス、最後
ニ再び總括的質問ニ移リマシタ、司法
大臣ノ出席ヲ求メ質疑應答ヲ致シマシ
タ、其ノ要旨ハ一二ノ委員ヨリ、此ノ
法案ハ實ニ複雜極メテ難解デアアル、
一體法律ハ國民ノ法律デアリ、國民ガ
容易ニ理解シ得ルヤウニスルコトガ何
ヨリ必要デアリ、所謂民主化デアラネ
バナラス、又用語ニ付テモ同様ノコト
ガ言ヘル、此ノ點ニ關シマシテ司法大
臣ノ御意見ヲ承リタイトノ質疑ガゴザ
イマシタ、之ニ對シテ司法大臣ハ次ノ
如ク述べラレテ居リマス、申ス迄モナ

谷本線並札幌線ニ連絡シテ北海道西部地方ノ開拓上貢獻スルトコロ尠少ナラサルニ依リ速ニ之ヲ實現ヲ圖リ以テ刻下喫緊ノ要務タル生産増強ノ國策ニ順應セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

豫定線雄武 枝幸間鐵道速成ノ件
北海道紋別郡興部村長増田定衛
外三名呈出

右ノ請願ハ豫定線雄武、北見枝幸兩驛間ニ鐵道ヲ發設スルハ東北海道縱貫線ノ完通トナリ樺嶺地方ニ於ケル無限ノ水陸資源開發ニ寄與スルノミナラス再建日本ノ食糧並戰災復興資材ノ供給上最要ナルニ依リ速ニ之ヲ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家正
内閣總理大臣吉田茂殿

○議長(公爵徳川家正君) 是等ノ請願ハ請願委員長報告通リ採擇ヲ致スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

【異議ナシト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナイト認メマス、次會ノ議事日程ハ決定次第發報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時三分散會

貴族院議事速記錄第七號正誤

頁段行 誤 正

五八 侯爵桂廣太 公爵桂廣太 郎君

貴族院議事速記錄第八號正誤

頁段行 誤 正

三五 中島 松君 中島德松君

定價 一部 七十錢

發行所

東京都麹町區大手町
印刷局
電話 九ノ内三三〇〇
振替東京一九〇〇〇〇
圖書課